

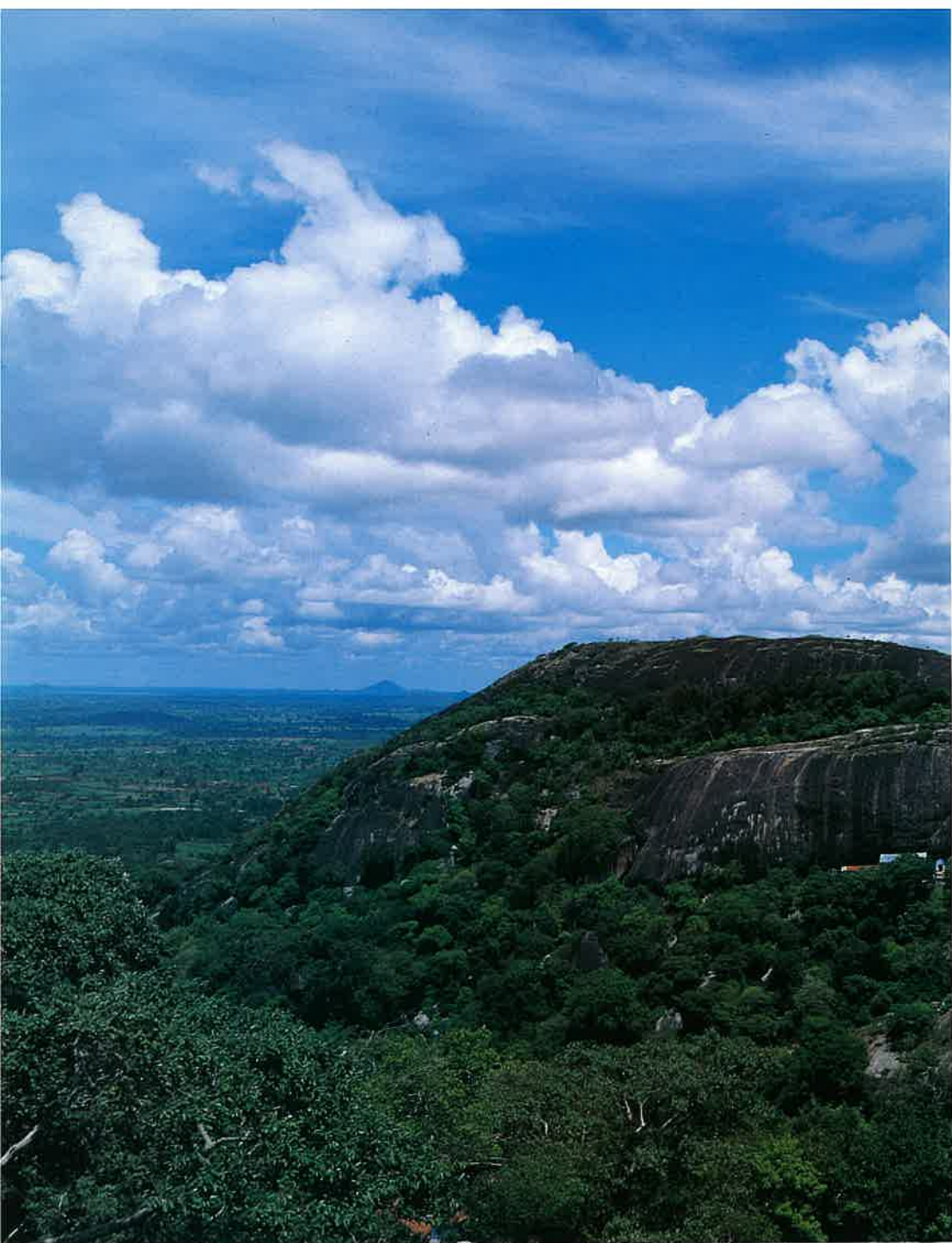
# 祈りの聖城—スリランカ—



- ① ダンブラ岩窟寺院の中で、最も広い第2窟は、多くの仏像と全壁面に極彩の仏教画が描かれている。



② ダンブラ岩窟寺院は標高370メートルの岩山の中腹にあり、2000年間生き続けた信仰の場。





③ 四つの顔と四本の腕を持った梵天と帝釈天（右端）等が釈尊の説法を聞いている。ダンブラ岩窟寺院第2窟



④ 天人や仏弟子たちに説法する釈尊。ダンブ  
ラ岩窟寺院第2窟。



⑤ 聖地ポロンナルワの繁栄に貢献したパラークマバーフ I 世像。12世紀。

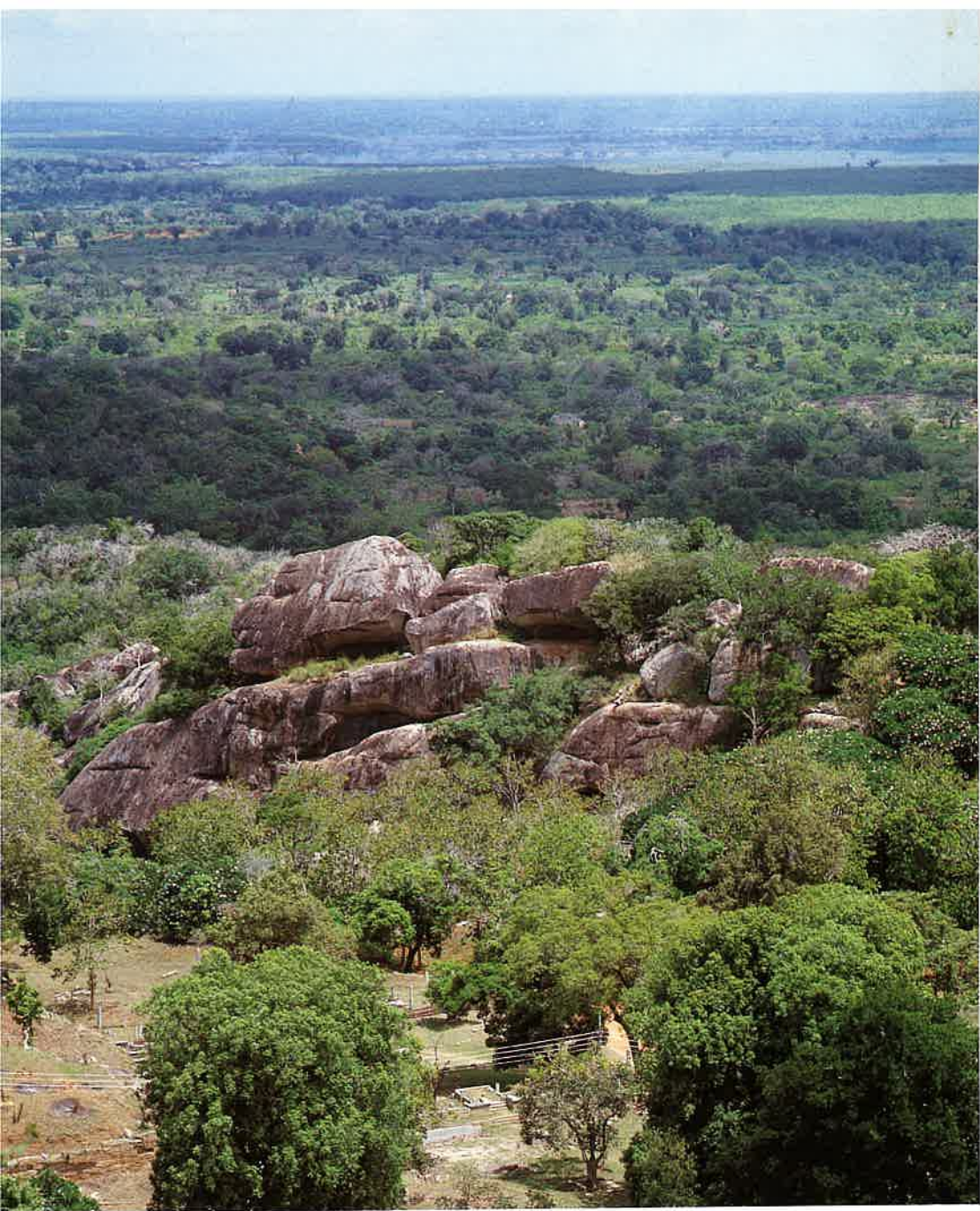


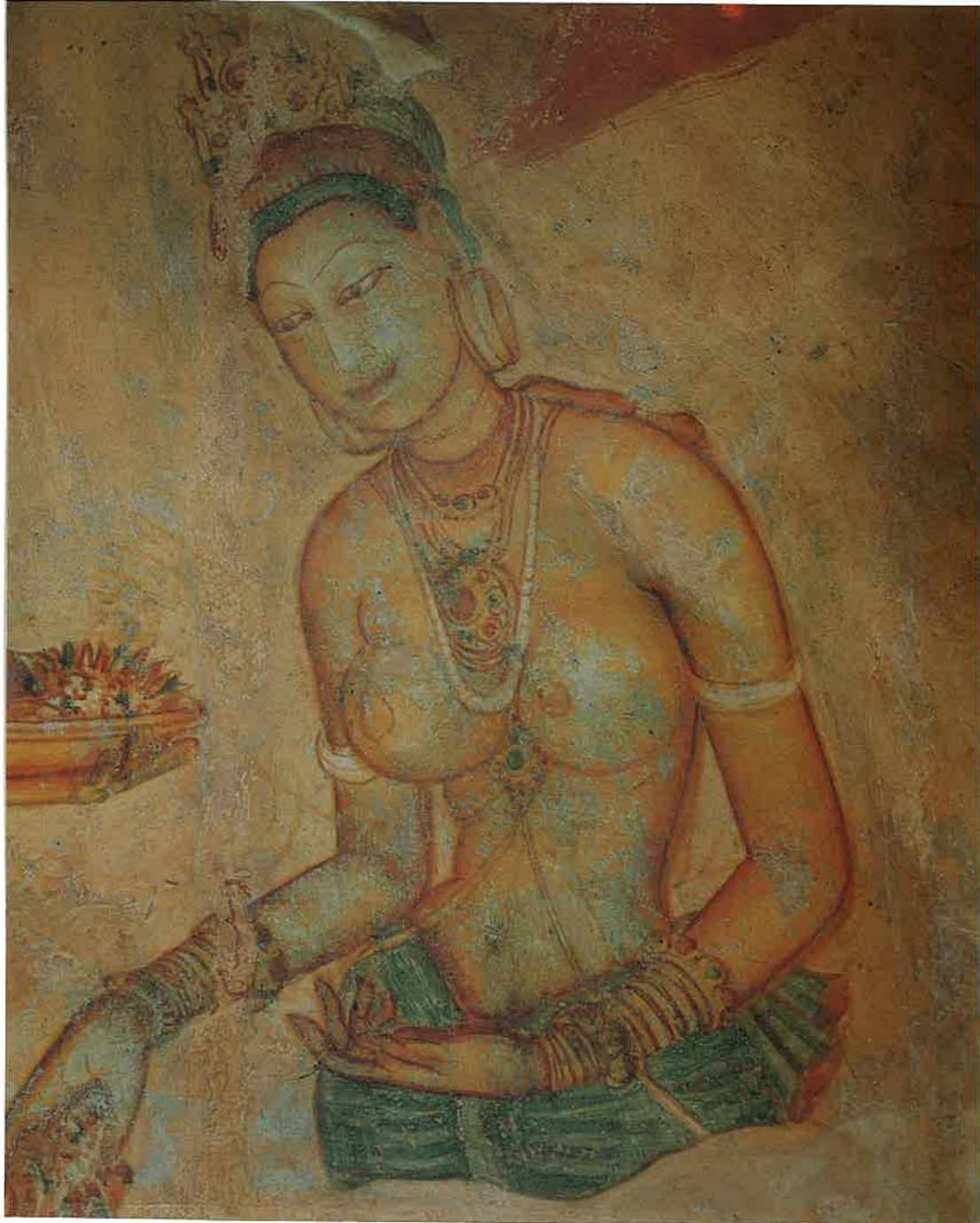
⑥ ポロンナルワのティヴァンカ・ピリマゲ祠堂の壁面に描かれた天人デワターの祈りの姿。



⑦ 聖山ミンタレー。アショカ王は前3世紀に、マヒンダ長老をスリランカに派遣し、この地で仏教を伝えた。右はカンタカ・セティヤ仏塔。







- ⑧ 聖山シーギリアに向かう岩壁に描かれた乙女たち。盆に盛った花は、お寺に献げるのであろう。清純な表情が美しい。





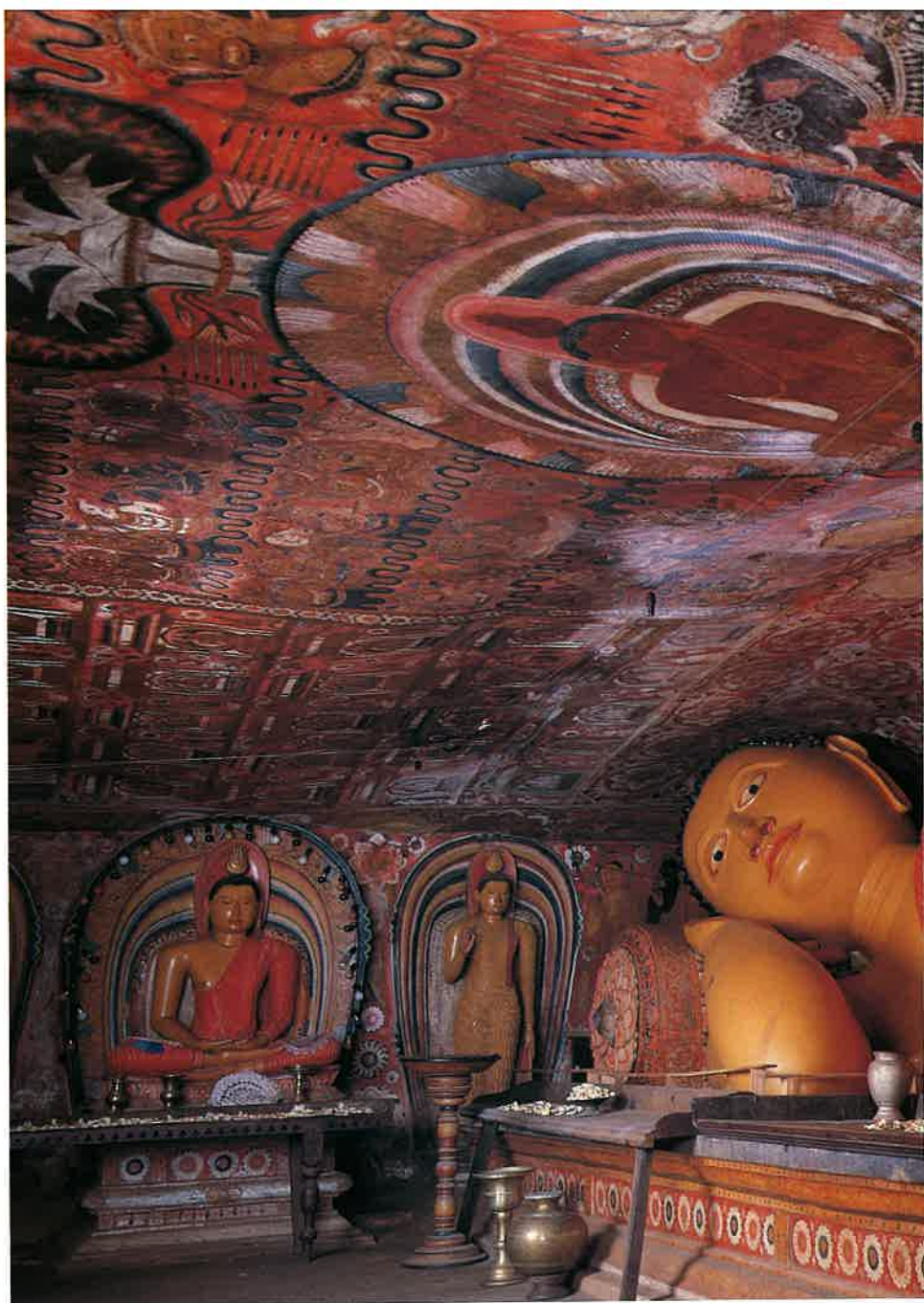
⑨ 9世紀頃のスリランカ南部には観音信仰が生きていた。ブドゥルヴェガラの菩薩たち。9～10世紀。

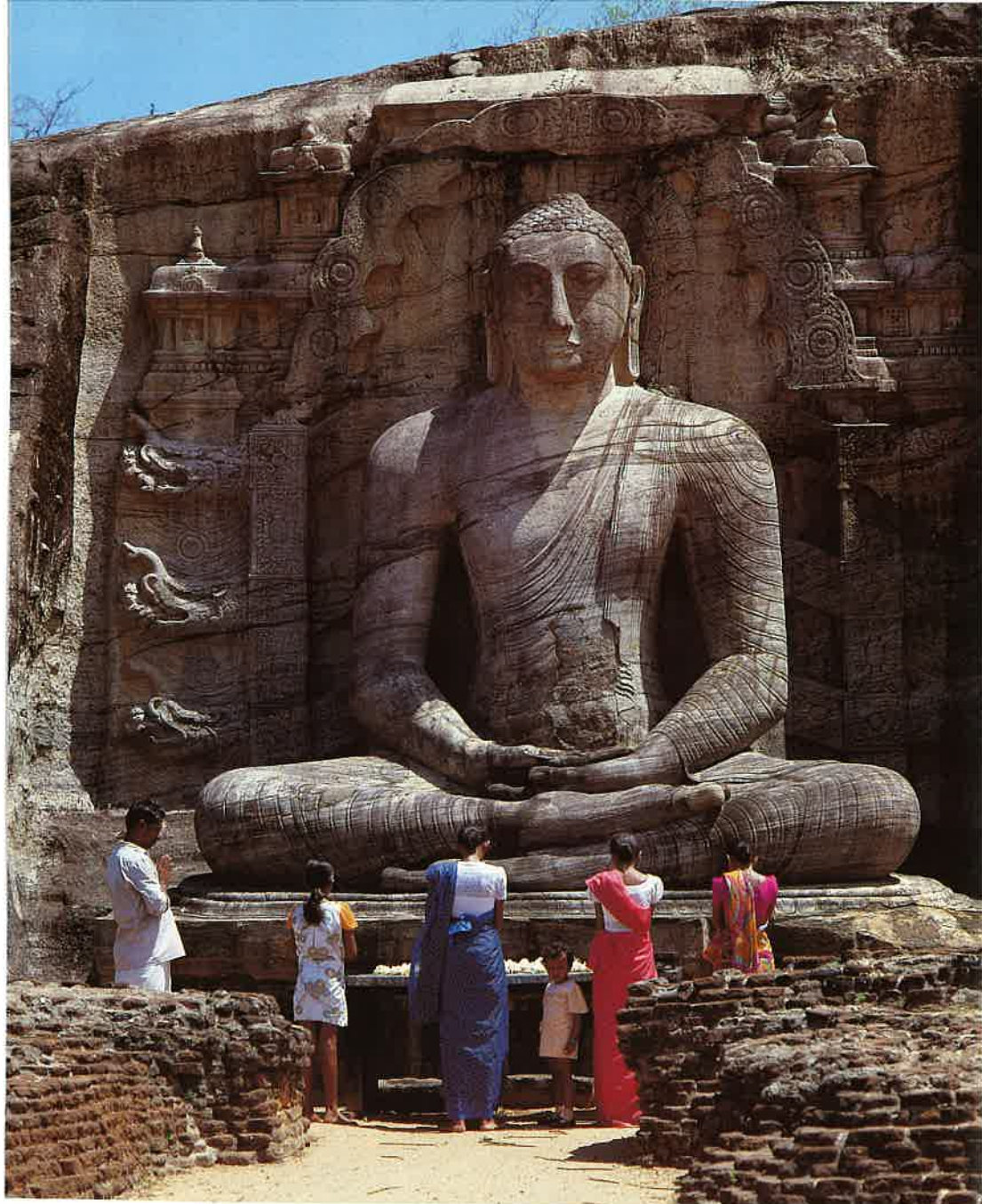


⑩ 自然石をくりぬいてつくられた、ガル・ヴィハーラ寺院の釈尊の涅槃像。



⑩ デガルドルワ岩窟の内部は色鮮やかな衣装をつけた涅槃仏を中心に仏立像、仏座像、壁面には仏や魔神たちが、所狭しと描かれている。





⑫ ガル・ビィハーラ寺院の禅定仏に祈るスリランカの信者たち。12世紀。